



議会 だより

千早
赤阪

一般質問

山形 研介

今後の村立小・中学校のあり方は「ドローン規制緩和国家戦略特区」に申請する構想は

田村 陽

遠くない将来、財政赤字となるのでは？
金剛山の魅力とは

関口 ほづみ

産業廃棄物などの不法投棄の監視強化を
住宅地内の生活道路の改修を

井上 浩一

高齢者・子どもが利用する施設周辺の
安全対策は

千福 清英

イノシシ等の捕獲体制の進捗は
旧千早小学校の今後について



vol. **131**
Feb 2020
12月定例会

12月定例会 議決結果

○賛否の分かれた議案

各議員の審議結果 ○…賛成 ●…反対 退…退席 欠…欠席 議…議長のため賛否なし	結 果	田中 博治	関口 ほづみ	井上 浩一	田村 陽	千福 清英	藤浦 稔	山形 研介
・加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度創設を求める請願書について	原案 不採択	議	○	●	●	●	欠	○

○報告案件

- ・専決処分（工事請負契約の変更締結）の報告について

○全会一致で同意された案件

- ・固定資産評価審査委員会委員の選任について

○全会一致で可決された議案

・人権擁護委員候補者の推薦について
・千早赤阪村会計年度任用職員の任用、勤務条件等に関する条例制定について
・千早赤阪村会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例制定について
・地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定について
・千早赤阪村手数料条例の改正について
・千早赤阪村立幼稚園条例の廃止について
・重要な公の施設に関する条例及び千早赤阪村立学校給食センター条例の改正について
・千早赤阪村B & G海洋センター条例の改正について
・千早赤阪村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の改正について
・災害弔慰金の支給等に関する条例の改正について
・千早赤阪村下水道条例の改正について
・令和元年度千早赤阪村一般会計補正予算（第9号）
・令和元年度千早赤阪村国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
・千早赤阪村・富田林市排水設備工事指定業者に関する事務の委託に関する規約の協議について
・動産の取得金額の変更について（高規格救急自動車）
・動産の取得金額の変更について（村立小・中学校ICT整備事業）
・村長の専決処分事項の指定について
・議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の改正について
・特別職の職員の給与に関する条例の改正について
・一般職の職員の給与に関する条例の改正について
・令和元年度千早赤阪村一般会計補正予算（第10号）
・令和元年度千早赤阪村金剛山観光事業特別会計補正予算（第3号）



村議会議長
田中博治

令和の時代となり、初めての輝かしい新年を迎えられ、村民の皆様には益々ご清栄のこととお慶びを申し上げます。

平素は村議会に対し多大なるご理解とご指導をいただき、お礼を申し上げます。

村議会としてもロープウェイの問題や、本年4月に開園します「認定こども園」の問題などの諸課題が山積しております。

こうした問題解決を図るために2つの特別委員会を設置しており、皆様の負託にこたえられるように審議の充実を図り、議会の改革を進めております。

また、昨年の台風にて被災されました皆様には村議会議員一同お見舞いを申し上げます。

さる11月13日には「全国町村議会議長会創立70周年記念式典」が東京NHKホールの大ホールにて盛大に開催されました。

その会場を後にして国会の大臣室に行き、竹本国務大臣と北村地方創生大臣に面談ができて、村のロープウェイの現在置かれている状況報告を行いました。

両大臣は私達の話に熱心に聞いていただき、村の灯りを消さないようにと。

全員協議会報告 令和元年12月19日

(案件)

1. 工事又は製造の請負契約報告書について

工事名：村道水分東阪線舗装工事
令和元年度汚水管渠布設工事

2. 監査結果報告の提出について

・監査対象課
定期監査：人事財政課地域戦略室、住民課
行政監査：総務課(税・会計)

・監査期間：令和元年7月～9月
・監査結果
概ね適正に執行されていると認められたが各種委員会の報酬の支払いに関する決裁がとられていない等の不備が見受けられた。

3. 千早赤阪村生活排水処理計画の

中間見直しについて

・生活排水対策に取り組むにあたり、将来の目標年次・人口・全体計画等見直していく。

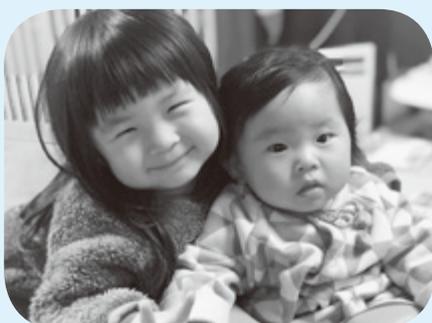
4. 教育委員会の事務に関する点検評価報告書について

・本村の教育行政事務の実施状況を検証し、その結果を村議会に報告すると共に公表している。



認定こども園工事

今月の表紙



水分 **矢倉 千鶴** ちゃん
(やぐら ちづる)

3才1ヶ月

矢倉 依都 ちゃん
(やぐら いた)

10ヶ月

姉妹仲良く

すくすく元気に育ってね!

父：康暉さん 母：早希さん

表紙写真 大募集!!

千早赤阪村議会だよりの表紙を飾っていただける
お子様の写真を募集しています。

【募集内容】

0歳から小学生程度のお子様の写真。(複数人でもかまいません。)

【応募方法】

写真掲載ご希望の方は千早赤阪村議会事務局までお電話またはE-mailにてご連絡ください。

議会事務局 ☎ 0721-26-7168 E-mail iken@vill.chihayaakasaka.lg.jp



今後の村立小・中学校のあり方は



教育委員会として小学校のあり方の方針を策定



山形研介 議員



千早小吹台小学校

問 児童・生徒数が年々減少傾向であり、小規模校を生かすうえでも、小中一貫校の設置を願っている。ただ財政的な面や立地条件等難しい課題が多い中で、次の2点について伺う。

① 小学校統合の考えは。

② 小学校が統合された場

教育委員会では、一つの小学校の児童数が2年続けて60人を切る、または、複式学級が生ずる年を予測して、この年を統合する時期と想定し、その3年前を目途に保護者や地域住民などの意見を集約する協議の場を設け、統合の時期や施設の

合、残る1校へ中学校が移転することの考えは。

答 小学校の児童数は来年度以降、両校とも100人を切ると推測され、令和7年度には両校とも60人前後の児童数になると予想される。

あり方等について協議する方針を策定した。

小学校がどちらかに統合された場合、もう1校を中学校にということについては、財政状況や既存施設の有効活用、地域活性化の視点も踏まえた上で検討していくべきものと考える。

問 「国家戦略特区」への構想は。我が村が先駆けに活性化を図る目的として。近い将来ドローンを利用した宅配の実証実験。また、大学・介護事業者・病院等と協力し、

「ドローン規制緩和と国家戦略特区」に申請する構想は

要望 統合に伴い、1校が廃校に。このことを考えると、経済効果が生まれる方を廃校にということと並行して議論することを強く要望する。

「国家戦略特区」への構想は。我が村が先駆けに活性化を図る目的として。近い将来ドローンを利用した宅配の実証実験。また、大学・介護事業者・病院等と協力し、

答 ドローン特区については、地方再生まちおこしとして徳島県那賀町が特区認定を受け、過疎地域に住む高齢者への宅配サービス・鳥獣被害対策

過疎・高齢化地域に発生する具体的問題の解決に村は立地条件・利便性が高い。「拠点」として誘致するための特区申請の構想について。

への実験など取り組んでいる。今回、「空の産業革命」と呼ばれるドローンを活用し、「むらおこし」をとの提案から思うが、村として何を「目的」として、どのような効果

サービスマン・鳥獣被害対策への実験など取り組んでいる。今回、「空の産業革命」と呼ばれるドローンを活用し、「むらおこし」をとの提案から思うが、村として何を「目的」として、どのような効果

を「期待」するのか。あるいは村の課題にドローンがどのように有効であるか、今の時点では分からない状況である。

現在、村では数々の問題が山積している中で、計画策定の内容も高度で体制的にも厳しい状況であり、特区の構想は困難である。



ドローン



問

産業廃棄物などの不法投棄の監視強化を

答

土地所有者が処分することになっている

関口ほづみ議員



府道沿いの作業場



不法投棄

問 村内周辺に産業廃棄物などの不法投棄が散見される。小吹台から甘南備への府道沿いの作業場で、夕方の時間帯に車が止まり、中で作業をしていることがあり、「何をしているのか不安」という声がある。状況を把握

し、指導するよう求める。

答 柵田への産業廃棄物の不法投棄や、その他にも投棄され放置状態になっている。新たな投棄をさせないために、関係機関と連携し放置状態のゴミを撤去するよう求める。

問 不法投棄されたゴミは犯人が特定できないことが多く、土地所有者が処分することになっている。府道・村道であれば道路管理者が処理することになっている。柵田や法面などは土地所有者が処分することになっている。

。富田林市などと連絡をとり、対応していく。

問 河内長野市はJ A大阪南と森林組合南河内支店と廃棄物の不法投棄を監視する協定を結び、不法投棄を発見した場合の情報提供を行い、災害を未然に防ぎ、生活環境保全などに努めている。村でもこのような協定を参考に環境を保護して行くことが大事だ。

答 郵便局と村道の傷みなどは連絡をいただいている。今後不法投棄などの情報もいただけるのか、勉強していきたい。

住宅地内の生活道路の改修を

問 小吹台など、住宅地内の生活道路の軽微な損傷が村内各地で見られる。村道の改修は、計画的に進めているが、アスファルトの剥離や木の根の侵入などによる損傷が目立つ。高齢者や学童幼

児が、段差や窪みにつまずき、事故につながる危険がある。

また、側溝の亀裂も各所で見られる。村道の軽微な損傷についても、こまめに改修するよう求める。

答 村道の舗装改修工事は、平成28年から路面状況をランク付けし、計画的に実施している。草刈りなどの村道維持管理は平成29年から外部委託し、舗装の破損なども確認し、その都度報告や改修を行っている。郵便局

とも連携し、道路損傷による危険箇所の情報提供をいただいている。

住民からの要望には、財政状況や人手の問題もあり、内容や利用状況を考慮し、優先順位をつけ対応している。

要望 道路や側溝の軽微な損傷について、傷の浅いうちに修繕することで寿命をのばすことができる。住民から要望のある場所について、現場を確認し対応するよう要望する。



住宅地内の村道・側溝の傷み



イノシシ等の捕獲体制の進捗は



「鳥獣被害対策実施隊」を設置し委嘱



千福清英 議員



鳥獣被害対策実施隊委嘱状交付式



問 イノシシ等の鳥獣被害についての質問は、従前よりされており、対策としては主に耕作地への侵入防止策の補助等の実施で今に至っている。被害は減るところか益々増えているのが現状である。今年度において、捕獲を目的とした体制を組

織し、捕獲と防獣の双方での対策により被害を最小限に抑えることとしているが体制ができていますか伺う。
答 今年度からの新規事業として「鳥獣被害対策実施隊」を設置する。実施隊の体制、活動は隊長となる担当課長からの依頼により捕獲などを行うこととなる。また、発足当初であり村内の出没箇所、通り道などの情報の収集となる。狩猟免許をお持ちでない方には、いづれ免許取得のための講習を行う

など隊員の資質向上を図る予定だ。
問 予定より遅れて発足することとなったが何人の隊員がいるのか、3月末までどのような体制で活動を行うのか伺う。
答 実施隊員は17名で、平均年齢は58歳である。村内全域が活動範囲となり、活動は捕獲だけではなく、被害の実態を詳細に調査、情報の共有化を図っていく。被害は前年の農業共済で水稲被害が約30万円、野菜についてはおおよそ数百万規模の被害があると推測される。

要望 鳥獣被害対策は、実施隊だけでなく鳥獣被害防止対策協議会が組織されている。これらの関係団体に加え、近隣市町とも連携を密に、より効果的で総合的な体制づくりの実現を要望する。

要望 いずれにしても、地域住民及び行政にとつて、最善の利活用が図られるよう前向きに進めることを強く要望する。

問 旧千早小学校は統合後、書庫や備品倉庫として利用されている。従前、校区の地区より今後の利用、活用について要望が提出され、様々検討する中、今年度は地区・地権者の協力により道路の拡幅工事に向けての動きがスタートした。今後の予定、展望を伺う。
答 これまで地区との意見交換を踏まえ、施設整備を行う場合の開発許可手続きに必要な道路幅員の確保について、地元地区からの用地協力を得られたことから、道路拡幅の測量設計業務をしており、来年度より道路拡幅の工事の着工を予定している。

問 旧千早小学校は統合後、書庫や備品倉庫として利用されている。従前、校区の地区より今後の利用、活用について要望が提出され、様々検討する中、今年度は地区・地権者の協力により道路の拡幅工事に向けての動きがスタートした。今後の予定、展望を伺う。
答 これまで地区との意見交換を踏まえ、施設整備を行う場合の開発許可手続きに必要な道路幅

また、学校の具体的な利活用については地区との意見交換の場を設け、より効果的な活用を検討していきたいと考えている。

旧千早小学校の今後について



拡幅工事予定地



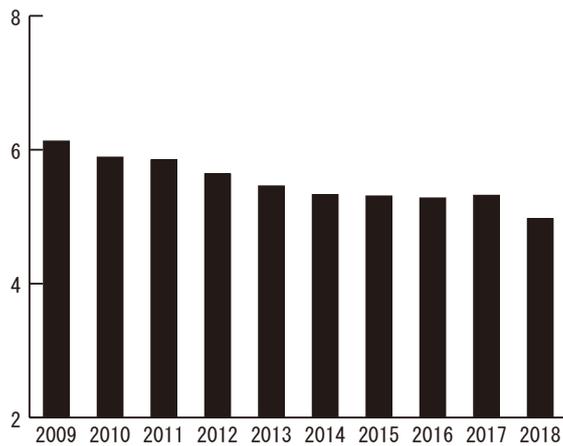
田村 陽 議員

問

遠くない将来、財政赤字となるのでは？

答

令和 16 年度には実質収支が赤字になる見込み



村税の推移 (単位：億)

問 村税や地方交付税交付金の減少を考えれば、そう遠くない将来、基金は枯渇、財政赤字となる公算が高いのではないかと。

答 人口減少による村税や交付税の減少に加え、退職手当や過疎対策事業債の償還に伴う公債費の増加などにより、このまま行けば、令和15年度で基金が枯渇し、令和16年度には実質収支が赤字になる見込みだ。

問 村として金剛山の魅力をどのよう分析しているのか。

答 歴史、信仰、耐寒・健康志向、ファミリー向け、山ガール、手軽なレクリエーション登山など、時代の流れとともに訪れる人々の様々な思いに込められるのが何よりの金剛山の魅力であると考えている。

望 本村の財政状況が厳しい中、多額の予算をいたずらにロープウェイに注ぎ込むことはできない。これまでどおりのロープウェイでは後世に負担を先送りするだけだ。行政としても、しっかりと村の財政状況を見極めて検討してほしい。

金剛山の魅力とは

村広報にてきちんと報告するよう求める。

うな運輸収入などありえない。現状では長期的に運輸収入の減少傾向が続いている。今後も減少を続ける想定が現実的なのではないか。

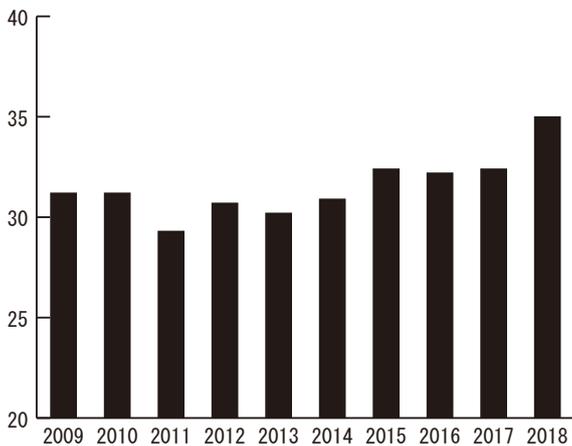
ロープウェイ事業の継続は困難となるのは明らか。大阪府と情報交換を行いながら、必要に応じて収支見込を見直していく。

望 今後、財政健全化推進本部を立ち上げ、これまでに以上に厳しい目で財政健全化に向けて取り組んでいきたい。

望 金剛山ロープウェイや小学校の統合問題など様々な課題に直面する中で、本村の厳しい財政状況を住民とも共有していかなければならない。

望 特別委員会では運輸収入が現状の倍のパターンも示されたが、そのよ

望 本村の財政状況が厳しい中、多額の予算をいたずらにロープウェイに注ぎ込むことはできない。これまでどおりのロープウェイでは後世に負担を先送りするだけだ。行政としても、しっかりと村の財政状況を見極めて検討してほしい。



村の借金の推移 (単位：億)



高齢者・子どもが利用する施設周辺の安全対策は



関係機関と協議し、検討していく



井上浩一議員



滋賀県大津市の例

問 本年11月に国は、保育施設周辺の道路で、ドライバーなどに園児への注意喚起や安全柵の設置など、重点的に対策をす

答 本年11月に国は、保育施設周辺の道路で、ドライバーなどに園児への注意喚起や安全柵の設置など、重点的に対策をす

る「キッズゾーン」の整備をするように通知を出した。
5月に滋賀県で散歩中の園児らが車にはねられ死傷した事故を踏まえた対応で、自治体に対し道路管理者や警察との連携を求めている。

「キッズゾーン」は「スクールゾーン」に準じる重点地域だ。保育施設を中心に原則半径500m以内を対象範囲とし、園児の散歩コースなどを踏まえ自治体が関係各所と協議して設定することとなっている。

実施例として車の交通規制や「ゾーン30」の導入などがある。
村では開園予定の認定こども園や子育て世代が集う保険センターも役場庁舎近くにあり、対策エリアだと思われるが考えを伺う。

また府道「柏原・駒ヶ谷・千早赤阪線」の安全対策について現状と今後の対応を伺う。

答 「ゾーン30」は幹線道路には設定できない。役場庁舎周辺の「キッズゾーン」の対策は健康福祉課、教育委員会、大府と検討していく。

府道柏原駒ヶ谷千早赤阪線については、安全対策を府へ要望している。

問 「スクールゾーン」については現在どのような対応しているのか。



建設中の「認定こども園」

現在40km規制の道路を變的に30km規制にできないか。

また今回の「キッズゾーン」については、どのような対応が考えられるか伺う。

答 「スクールゾーン」は現在村内で設定は無いと認識している。

速度制限については必要に応じて関係機関と調整する。

「キッズゾーン」につ

いては路面表示や標識、交通安全施設の整備、園児等への交通安全教育や警察の重点的な交通指導の取り締まり、見守り活動などが考えられる。

要望 現状の交通対策状況では、不測の事態が発生した場合、最悪の結果を招く恐れもある。

過去の前例に鑑み、各方面としっかりと協議し対策を願いたい。

研修報告

▼令和元年10月24日、大阪府豊能郡能勢町へ。能勢町は大阪の「てっぺん」で、豊かな自然に生まれ、歴史・文化の魅力的な観光スポットがあり、地域の活性化及び観光の取り組みについての目的で伺った。

「能勢物産センター」・「人形浄瑠璃シアター」・「けやき資料館」・「妙見山」の4カ所となる。

まず、能勢物産センターでは、四季の農産物を販売している。特に秋の特産品の栗・黒枝豆などを能勢の「旬」をダイレクトに感じる直売所である。人形浄瑠璃シアターは、江戸時代から受



け継がれている「能勢の浄瑠璃」をキーワードに平成5年に設立され、能勢町の貴重な文化を継承し発信している。

けやき資料館では国の天然記念物で、町の自然環境のシンボルである大けやきを見学しました。最後に妙見山に参拝して両町村の発展を願い有意義な研修を終了し帰村した。

請願

令和元年11月25日、全日本年金者組合大阪府本部千早赤阪支部から「加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度創設を求める請願書」が村議会に提出された。

補聴器の使用率は欧州諸国に対し日本は非常に低いとされている。日本補聴器工業会が行った調査によれば、イギリスではほぼ半数が補聴器を使用しているが、日本ではわずかに15%ほどの使用率となっている。

日本で普及が進まない背景としては、補聴器が15〜30万円と非常に高価であるにも関わらず、保険適用がなく原則として自己負担となっていることが考えられる。

今回提出された請願

は、そのような状況を改善すべく、公的な補助制度の創設を求める旨のものである。

賛否を問うべく審議を行なったが、請願の主旨は理解できるものの、①現状では医師の7割が勧めておらず、

医師が積極的に勧めていない状況で補助だけ先行させるべきなのか、②購入されても使用されない補聴器が多い、③難聴には個人差があり、個人にあわせて微調整が必要となるが、現状ではまだ販売体制が整っていない、④欧米に比べると日本では補聴器に対する満足度が低いなどの課題が指摘され、賛成2・反対3で請願の採択は否決された。

第3回「金剛山ロープウェイのあり方に関する特別委員会」(12月3日)

耐震整備事業費の必要額(概算)

12億4100万円

同時に、今後の一般会計財政見通し(粗い試算)の概要なども示された。

村が整備し、指定管理で運営した場合、赤字が発生するため、行

政が事業計画を作成し、資金やノウハウを提供する民間事業者を募集し、施設的设计・施工・維持管理・運営などに民間の資金を活用する制度を検討し、

ロープウェイを再開するかどうかの結論を出すとしている。

再開が見込めない場合は施設の撤去費用約5億円(安全索道・令和元年5月試算)必要となる。

議員表彰

全国町村議会議長会 永年功労者表彰
全国町村議会議長会創立70周年記念として30年以上在職者に特別表彰が授与されました。

田中博治議員、関口ほづみ議員



活動報告

会派合同研修報告

1. 研修日

令和元年11月19日(火)～20日(水)

2. 研修先及び内容

○和歌山県土砂災害啓発センター

このセンターは、平成23年の台風12号による甚大な土砂災害を契機に設置された。深層崩壊等の大規模土砂災害の発生メカニズムに関する調査研究を行っている。

ハード対策では砂防工法等の対策研究、ソフト面ではテレビ和歌山を通じ安全や警報の情報周知である。



土砂災害発生メカニズムについての説明



土砂災害啓発センター前にて

○和歌山県那智勝浦町色川地区(籠ふるさと塾)

この地区における定住促進の取り組みについて

新規定住者と地元との関係は15軒訪問の定住体験を提供し、農業を基盤とした山村生活の文化等を理解する機会を提供し、定住につなげている。

活動の成果としては、地域の組織や活動への参加、神社の祭り等伝統文化の継承、有機農業、農産物加工品で産業振興に貢献している。

議会を傍聴

しませんか？



次回定例会の予定

3月4日(水)から3月24日(火)です。
3月4日 本会議
3月24日 本会議(一般質問)
開会時間はいずれも午前10時です。
このほか、各委員会なども開かれます。

(議会事務局 ☎0721-26-7168)

議会事務局は保健センター2階、議場は3階集団指導室兼議場です。

雑感

2020年、スポーツの祭典オリンピッククイヤーの開幕である。

各競技のアスリートが代表選手として内定していく中、昨年末には、新

しい国立競技場が完成した。すでに様々な大会等が開催されている。

競技場においては、夏の暑さ対策は勿論のこと、屋根の部分には全国の都道府県より提供された木材が使われており、それぞれの方に向いているという。木材が不況の中、好印象を受けた。

全世界が注目となるオリンピック、パラリンピックの開催によりインバウンド効果が期待できる。地域の活性に繋がることになればと思う。

わが村も課題を早く解決し、それに乗っていければ良しとなるのだが。

K・S

広報編集委員会

委員長	田村 陽	副委員長	関口ほづみ
委員	井上浩一	委員	千福清英
議長	田中博治		